

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 2 月 29 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準を上回るスペースを確保しています。療育に集中出来るように机の位置、向きなど配慮しています。	今後も利用定員とスペースが適切な関係になるよう努めます。
	2	○		基準以上の人員配置で、保育士や児童指導員の専門職員も配置しています。	今後も適切な職員配置を行って参ります。
	3	○		入り口に段差はありますが、室内はバリアフリーで、児童の動線を妨げないよう適切に配慮しています。	今後も児童の安全に配慮し、適切な環境を心掛けて参ります。
	4	○		定期的に常勤、非常勤問わず参画、PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	今後も定期的な会議で、各自が評価、業務改善策について検討し、提案し、討議して参ります。
業務改善	5	○		開所後初めてのアンケート調査を実施し、保護者様にご協力頂きました。	今後この評価に基づき、職員で共有検討し、業務改善に繋げていきます。
	6	○		自己評価の結果を、公式 Web サイトで公開しています。	今後も Web サイトにて公開を行って参ります。
	7	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後課題として検討して参ります。
	8	○		開所時期のタイミングで行政主催の研修に参加する機会を逸しておりませんが、事業所内で各種研修を行っています。	今後は外部の研修にも参加し、研修の参加者が情報や知識の共有を図るため事業所でも定期的に研修を行い、研鑽に努めて参ります。
適切な支援の提供	9	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	今後も保護者様のご意向を踏まえた放課後等デイサービス計画書を作成していきます。
	10	○		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	今後も継続して正確にアセスメントできるように努めて参ります。
	11	○		活動プログラムの立案をチームで行っている	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画していきます。
	12	○		活動プログラムが固定化しないよう工夫している	今後も児童が意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう固定化しない活動を心掛けます。
	13	○		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	今後は児童の希望も取り入れながら継続して平日の連続活動、長期休みの季節行事や制作等で変化を持たせて参ります。
	14	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案して参ります。
	15	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後も毎朝当日の流れ・支援内容や役割分担についての情報共有の上、支援に取り組んでいきます。
	16	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も継続して共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
	17	○		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	今後も継続して記録の記載を徹底して参ります。
関係機関や保護者との連携	18	○		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	今後も定期的に児童の現状把握、保護者様のご意向を踏まえて、目標設定ができるよう放課後等デイサービス計画書の見直しや、作成を行っています。
	19	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	今後も基本活動を複数組み合わせ、より良い支援を目指して参ります。
	20	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	今後も継続して児発管が参加し、支援計画や活動案に活かして参ります。
	21	○		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	今後も継続して学校やご家庭と密に連絡を取り合い、頂いた情報については職員間で情報共有し、共通認識ができる様努めて参ります。
	22	○		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	今後、対象となる児童の利用が開始となる場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けた態勢を検討して参ります。
	23	○		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	今後は、園や児童発達支援事業所とは連絡を取り合い、情報提供や助言を頂きながら、より良い支援の為に児童の課題に向き合って参ります。
	24	○		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てて頂きたいと思っております。
	25	○		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	来年度は積極的に研修にも参加し、助言を求め、連携して参ります。
	26	○		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の学童保育等との交流機会への検討を行って参ります。
保護者への説明責任等	27	○		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	今後は研修や講義等に積極的に参加し、能力向上に繋げて参ります。
	28	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
	29	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	今後は、ペアレント・トレーニングの機会を検討し、また継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めて参ります。
	30	○		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	これからも分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	31	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	今後も継続して、子育てのお悩みについて助言を続け、保護者様に寄り添う対応を心掛けて参ります。
	32	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	保護者同士の交流を希望されていないご家庭もあり、ご意見をうかがい、ご意向に配慮しながら保護者様同士や職員との交流機会を検討して参ります。
	33	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	今後も保護者様から忌憚なくご意見を頂けるようコミュニケーションを取り、ご意見には出来るだけ迅速な対応を行い問題を解決できるように努めて参ります。
	34	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	今後も継続して情報の発信を行い、保護者様にも更にご意向を踏まえた上で地域イベントに児童と参加したり、事業所の行事に近隣の方々をお招きする等を検討して参ります。
	35	○		個人情報に十分注意している	個人情報や今後を細心の注意を払い取り扱いや保管を行って参ります。
非常時の対応	36	○		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	今後も個々の特性を考えながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	37	○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	通所を秘密にしておきたい保護者様もおられるため、今後は保護者様のご意向を踏まえた上で地域イベントに児童と参加したり、事業所の行事に近隣の方々をお招きする等を検討して参ります。
	38	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	各種マニュアルをご覧頂けるように保護者様にも更にご覧できるようにして参ります。
	39	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	今後も定期的に避難訓練を続けて参ります。
	40	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	今後は積極的に社内外の虐待防止への研修へ参加を行い、討議を続けて参ります。
	41	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時または、児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限り行われることを保護者様に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画にも記載をして参ります。
	42	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物によるアレルギー発作を決して起こすことのないよう今後も細心の注意を払い、慎重に対応して参ります。
	43	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	今後も記録し、情報共有、認識一致の上、事故防止のため、都度振り返りを心掛けて参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。